参加者のみなさんの感想

益田市内に住みながら、新しい発見ばかりでした。残念ですが、古いまち並み景観が水害で消えたのがさみしいです。

前回の漁村と似ている場所もあり、益田自体の特色なのかなと思った。

たくさんほめていただき、たくさんのことを教えていただきありがとうございました。

写真の捉え方の技術的な部分も少しだけ理解できました。他の地域でも、新しい発見を求めて、まちあるきをしてみます。

日頃、よく通る道だけど、気付かない建物、塀、たくさんありました。

2 回目の講座でした。これからもっと益田の地を深く理解していきたい。

初めて参加しました。四季折々に講座があれば楽しめると思いました。

歴史を感じた良い企画でした。

ふだん何気なく歩いていた道にも新発見があったり、足をふみ入れたことのない路地に入ってみたり、カメラと歩いて楽しい時間でした。

知らない町を歩くことで見た事もない路地を知ることができてよかったです。

とらえ方、工夫など具体的な説明でとても良く理解できた。

秋野先生の的確なアドバイスでまちを歩けて、いろいろな見方が少しでもわかり、まちに対する興味・関心がわいた。

あまりにも現代化され、30 年ぶりに歩き驚きました。写真の難しさを知らされました。

七尾地区はなかなか撮るのが難しかったです。秋野先生の話はわかりやすくおもしろかったです。

古い物やレトロな物は、どちらかといえば興味の対象外でしたが、フィールドワークに参加して考え方が変わりました。参加してよかったです。

ふだん町を歩いて撮ることがなかったので良かった。

先生の説明よくわかりました。写真に興味がわきました。これからは「伝える写真」を撮れるよう心掛けようと思います。

『第４回益田市景観シンポジウム』開催報告

去る平成 28 年２月６日（土曜日）、市民学習センターにおいて、身近な景観の価値を共有し、益田らしい景観を守り、育て、次世代に引き継いでいくことを目的として「第４回益田市景観シンポジウム」を開催しました。当日は、時折小雪の舞う中を、延べ 100 名の方にご来場いただきました。

第１部では、「特別講演」として、学校法人七尾学園益田東高等学校　美術部顧問　寺井壽一（てらい　ひさかず）氏をお招きし、『益田を愛し、描いた作家たち』と題して、益田の景観を描いた作家とその作品について、描かれた場所の現在の姿も重ね合わせながらお話しいただきました。来場者からは「益田を愛した画家がたくさんいることに驚いた」という感想が寄せられました。

続いて第２部では、「第４回益田市景観賞」表彰式および講評の後、景観フィールドワーク講座講師の秋野先生から、「活動報告」として、『写真撮影を新たな関心と観察のきっかけに』と題し、講座参加者のみなさんが撮影した写真や、寄せられた感想をもとにお話しいただきました。写真撮影を通して、丁寧に観察することの大切さ、普段何気なく目にしている風景も、新たな視点で捉えることで、発見や驚きがあることなど、地域の景観に関心を寄せるきっかけとなりました。

また、会場では、講座で撮影された写真や、講座の様子を紹介するパネルの展示も行いました。

それぞれ絵画と写真という、普段とは少し違った角度から景観についてお話しいただくことで、皆さまに、景観についてもっと身近に感じていただけたのではないかと思います。

講師の寺井先生、秋野先生をはじめ、会場にお越しいただいた皆さま、実施にあたりご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

フィールドワーク講座の様子や
景観行政情報を随時掲載！

益田市景観ブログ　いいとこ、み～つけた！
http://blog.canpan.info/mkeikan
景観行政団体益田市 facebook
https://www.facebook.com/mkeikan

平成 27 年度　第２号
景観フィールドワーク講座だより

益田市景観フィールドワーク講座
～第２回　七尾地区～

日　時：平成 27 年 11 月 29 日（日）
９：００～１６：３０
会　場：益田地区振興センター
参加者：のべ２１名

益田市景観フィールドワーク講座の内容や感想などを、参加者のみなさんにお伝えします。

◇◆◇　益田市景観フィールドワーク講座とは　◇◆◇

益田市は、平成 26 年 12 月に「益田市景観計画」を策定しました。今後、この計画を活かしたまちづくりに、市民のみなさんと共に取り組んでいくためには、より多くの方に益田の景観について興味を持ち、その魅力を知っていただくことが大切だと考えます。そこで、これまでとは少し違った景観へのアプローチとして、写真家の秋野 深（あきの じん）氏を講師に、カメラを持ってまちを歩き、興味を持った景観を思い思いに撮影する「景観フィールドワーク講座」を開催しました。

益田市景観フィールドワーク講座　第２回は「歴史的まち並み景観」の七尾地区！！

七尾地区は、益田市を代表する歴史的まち並み景観のひとつです。城下町の名残を留める寺社や史跡は、歴史の足跡を感じさせ、かつての造り酒屋や道沿いに並ぶ格子窓の建物は、昔のまち並みを思い起こさせます。

「益田市景観計画」では、特色あるまち並みを有する地域など、今後、重点的に景観の保全・形成に取り組むことを検討していきたい地区について、市内 20 地区程度を「景観計画重点地区」候補地域として盛り込んでいます。景観フィールドワーク講座は、この「景観計画重点地区」候補地域を中心に開催しています。

今回の開催地の七尾地区は、「点在する史跡を核とした、歴史を感じるまち並み景観」として、第１回の開催地の飯浦地区は、「漁村特有のまち並みが残る、生活景としての漁村景観」として、それぞれ候補地域に挙げられています。

当日のプログラム

☆オリエンテーション☆

事務局からの景観フィールドワーク講座の説明の後、秋野先生よりフィールドワークでの撮影のポイント等を説明していただきました。

☆フィールドワーク☆

秋野先生にアドバイスを受けながら、興味を持った景観を撮影していきました。子どもさん達も、大人と一緒に楽しそうに撮影していました。

☆ふりかえり☆

参加者みんなで写真を見ることで、他の人がどんな景観に興味を持ったのかを知ることができました。秋野先生が撮影者へ質問する場面もありました。

☆閉会☆

アンケートでは、感想や今後フィールドワークを実施したい景観を書いていただきました。また、第４回益田市景観シンポジウムの案内を行いました。

平成 27 年度　益田市景観フィールドワーク講座
～第２回　七尾地区～

第 2 回となる今回は、5 歳から 80 歳代の幅広い年齢層の方に参加いただきました。また、前回の飯浦地区に続いて参加された方もいらっしゃいました。

オリエンテーションでは、事務局から景観フィールドワーク講座の趣旨と、景観計画重点地区候補地域について簡単に説明を行いました。続いて、講師の秋野先生よりフィールドワークでの撮影のポイントや、景観の捉え方、観察することについて説明していただきました。

フィールドワークは、午前中はオリエンテーションの実践として、秋野先生のアドバイスのもと、参加者全員で歩きながら撮影しました。午後からは、各自で七尾地区を自由に歩き、思い思いに撮影していきました。

ふりかえりの時間では、秋野先生のコメントや撮影した方への質問も交えながら、参加者のみなさんが撮影した写真をスライドに映していきました。写真を見ると、他の人がどんな景観に興味を持ったのか、同じ風景を見ていても、捉える視点は様々だということがよくわかりました。

また、今回は、参加者のみなさんに、自分が興味を持った景観や、他の人にも見てほしい景観などを、自由に地図に書き込んでいただきました。

長時間に渡るプログラムでしたが、ご参加いただきありがとうございました。

見つけた！
七尾地区の魅力ある景観！

参加者の皆さんが、七尾地区のどんな景観に興味を持ち、魅力を感じてカメラを向けたのか、撮影した写真から分析していきます。

寺

妙義寺

順念寺

暁音寺

地区内の三つの寺院。どっしりとした黒瓦の山門、白壁を廻らせた山門、板塀を廻らせた山門と高く力強い鐘楼。どれも歴史と風格を感じさせる。

太鼓橋

歴史を感じさせる石造りの橋。周りには地蔵や朱色のお堂。橋の上からは、道が一直線に伸びているのが見える。山を背景にした姿も趣がある。

細い路地

建物と建物の間の、人がひとり通られるくらいの狭くて静かな空間。その先に何があるのか、興味を魅かれる。石垣に使われている石も面白い。

景観フィールドワーク講座 ～第２回　七尾地区～

参加者の皆さんに、フィールドワークで興味を持った景観や、「いいな」と思った景観、他の人にもぜひ見てほしい景観などを、自由に書き込んでもらいました。

⇒ 注目したのはココ！

赤い点線の範囲内が、景観計画重点地区候補地域です！

フィールドワークでは、この候補地域内を歩きました！

家並み・建物

酒蔵周辺

かつての造り酒屋や病院、料亭などの古い建物。道沿いに並ぶ格子窓の建物は、昔のまち並みを思い起こさせる。

神社・水源地

神社の石段からの眺望。参道の石畳と鳥居。かつて七尾城の内堀だった花菖蒲園。桜の時期は大勢の人が花見に訪れる。

まちで発見！

バス停に歴史上の人物の名前･･･初めて見た時は、珍しくてとても不思議でした！

懐かしさを感じさせる掲示板。瓦や門に施された装飾。石垣の穴、水害の記録、バス停･･･古いものから新しいものまで様々。